

聞いて楽しい源氏物語

シリーズ(7)が始まりました！！

「聞いて楽しい源氏物語」もシリーズ(7)まで進み、今回も定員を超えるご応募をいただき、10月20日から良いスタートが切れました。

なお、特別企画として、11月8日に受講生を対象に京都「潺湲亭」見学を実施します。

公開文化講座



会 場 : 関西アーバン銀行豊中支店 4 階ホール (阪急宝塚線豊中駅徒歩 3 分)
 期 日 : 平成 28 年 10 月 ~ 平成 29 年 3 月 (毎月第 3 木曜日 10:00 ~ 11:30)
 受 講 料 : 7,500 円 (シリーズ 7)

平成 25 年 10 月からスタートした「聞いて楽しい源氏物語」は、たつみ先生の解説に魅了されているうちにシリーズ (6) も修了致しました。10 月からはシリーズ (7)、テキスト巻 4 へ進みます。

多々ある「源氏物語」訳本の中でも谷崎潤一郎の現代語訳は最も原文の雰囲気のをのこしていると言われています。そこで原文の雰囲気をそのままに、且つ分かりやすく、1 帖ずつ解説していただきます。

解説は谷崎文学の語り部・たつみ都志先生

講 座 日	内 容
第 37 回 平成 28 年 10 月 20 日 (木)	第 36 帖 『 柏 木 』 女三宮は男児を出産し柏木は衰弱死する。薫は順調に育つが光源氏の心中は複雑だ。
第 38 回 平成 28 年 11 月 17 日 (木)	第 37 帖 『 横 笛 』 柏木から遺笛を預かった夕霧は、その処置に迷う。そして柏木の未亡人に恋をする
第 39 回 平成 28 年 12 月 15 日 (木)	第 38 帖 『 鈴 虫 』 出家した女三宮は持仏開眼供養をして、御殿の前庭に鈴虫を放った。
第 40 回 平成 29 年 1 月 19 日 (木)	第 39 帖 『 夕 霧 』 病を患った母とともに小野の山荘に籠った落ち葉宮に求愛する夕霧と、怒りの雲井雁
第 41 回 平成 29 年 2 月 16 日 (木)	第 40 帖 『 御 法 』 病の紫上が出家を望むが許さぬ源氏。8 月明石中宮に手を取られて紫上は死んだ
第 42 回 平成 29 年 3 月 16 日 (木)	第 41 帖 『 幻 』 紫上の逝去以来ふさぎ込んだ源氏は、歳末、思い出の手紙類を焼いて人前に姿を現した。

講 師 : 武庫川女子大学名誉教授 たつみ都志



大阪府立豊中高等学校卒業
 関西学院大学大学院博士課程修了
 芦屋市谷崎潤一郎記念館副館長
 特定非営利活動法人「潤」理事
 日本プレゼン・スピーチ能力検定協会 大阪教室代表
 女性の生き方支援 cocosta 主宰 06-6531-3993



 NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ

